

スリランカを知ろう！～海士町と同じ？ちがう？～

氏名：池田 優子

担当教科：全教科

時間数：8時間

学校名：海士町立福井小学校

実践教科：国語科、学級活動、道徳、家庭科、校内
研修

対象学年：全学年、教職員

人数：全校児童53名

【1】単元のテーマ・目標

- ・スリランカの生活文化等を知り、諸外国への興味・関心を高める。
- ・互いの国の相違点を見つけながら、相手をよく知る楽しさや大切さに気づく。
- ・初めての海外経験から感じたことを伝え、自分たちも行ってみたい、交流したいという意欲や関心を持たせる。

【2】単元の評価規準例

(ア) 関心・意欲・態度	他国について興味・関心を高めている。
(イ) 思考・判断・表現	他国の文化について、自分の町とのつながりを考えたり、予想したりすることができる。
(ウ) 技能	スリランカと海士町の相違点を見つけることができる。
(エ) 知識・理解	スリランカの文化や生活様式について理解することができる。

【3】単元設定の理由

<児童観>

本校は、島根県の離島、海士町の中にある。都会のような便利の良さはないが、海士町にしかない自然や暖かい地域の方に囲まれて、児童はのびのびと過ごしている。一方、児童が島を出て過ごす経験が少なく、自分たちの町以外へと目を向ける機会があまりないことに気が付いた。また、町を訪れた外国からの観光客やALTの先生に対して、話をすることはできるが、その向こうの生活や外国の様子についてはあまり興味を示していない児童が多いことが現状である。

<教材観>

本単元は、外国の人や文化に興味や関心を持つとともに、互いの国の相違点に気づき、相手をよく知る大切さに気づくことをねらいとしている。「スリランカボックス」では、スリランカにあるものを見て、触って、においをかいでと五感を使って体験することができる。体験を通して、スリランカを身近に感じることでできる教材である。

<指導観>

人口や面積、物の写真など、自分たちの住む海士町と比較しながら相違点を考えることで、距離的には遠い国のようなスリランカを身近に感じてほしい。また、相違点を考えながら諸外国に目を向け、海の向こうに渡ってみたいという興味を持たせると同時に、自分たちの住む海士町の良さにも触れていきたい。

教員自身が、教師海外研修が初めての海外だったことから「知らないことを知って面白い。」「出会いは宝物。」「スリランカは遠いようで、実は近い存在だ。」という3つのことについて、実体験をもとに児童に伝えたい。そして、新しいことに挑戦する勇気を持てるようにしたい。

【4】展開計画（全8時間）

時	テーマ・ねらい	活動・内容	使用教材
1	「10日間の研修について」 (教員) ・スリランカ研修で学んだことや感じたこと、国の様子について見たことなどを教職員に知らせ、学びをフィードバックすることができる	○スリランカについて ・スリランカでの学びについてプレゼンテーションをする ・スリランカでの経験を通して感じたことを話す	・写真、動画 ・パワーポイント
2	「夏休みの思い出」 (1年生・学級活動) ・夏休みの経験を話したり、聞いたりすることができる	○スリランカってどんなところ？ ・写真や世界地図を使って、スリランカについて知る ・写真や動画から、自分たちの国との違いや同じところを考える	・写真、動画
3	「スリランカの衣食住」 (5、6年生・家庭科) ・スリランカの衣食住について知り、自分たちとの相違点を見つけたり、暑い時期を快適に過ごすための工夫を考えたりすることができる	○暖かい地域に暮らす世界の人の暮らしを知ろう ・写真や動画を見て、スリランカの人々の暮らしについて知る ・自分たちの国との相違点を考える。 ・暑い時期を快適に過ごすための工夫や良さを考える	・写真、動画
4 本時	「スリランカを知ろう！」 (全校・学級活動) ・スリランカについて知り、諸外国への興味・関心を高める	○スリランカクイズをしよう！ ・スリランカクイズを通して、自分たちの住む海士町との共通点や相違点を見つける ○体験！スリランカボックス！ ・スリランカのものや写真から、スリランカの人々の生活について知る ○スリランカでの学び ・教員が体験して感じたことや考えたことを聞く	・写真、動画 ・パワーポイント ・スリランカボックスの品 ・ワークシート ・感想用紙
5	「この本、どんな本？」 (1年生・国語科) ・自分の好きな本を紹介することができる ・紹介された本に興味を持ち、自分で読むことができる	○絵本を読もう ・スリランカ出身の絵本作家シビルウェッタシンハさんの絵本やスリランカについて書かれた絵本「南の島のプルワン」の絵本の読み聞かせを聞く ・好きなところや素敵なところを見つける ・発行者の思いを知る	・シビルウェッタシンハさんの絵本

時	テーマ・ねらい	活動・内容	使用教材
6	「ことばがつうじなくても」 (1年生・特別の教科 道徳) ・国際理解・国際親善 ・他国の人々に親しみ、進んで関り、よりよい関係を築こうとする心情を育てる	「となりのジェニーちゃん」 ○言葉が通じないジェニーちゃんと主人公が仲良くなれた理由を考える ・世界の絵日記を読んで、日本と比べる ・スリランカの勉強や文字について知る	・みんなの道徳1年 (学研) ・ワークシート
7	「サッカー日本代表の監督になろう」 (教員) (人権・同和教育研修) ・アクティビティを通して人権について考えることができる	○サッカー日本代表の監督になろう ・日本代表としての必要条件を考える ・条件から見る人権について考える	・ワークシート ・iPad
8	「日本とスリランカの関係について」 (6年生・社会科) ・戦後の二国関係について知り、外国について関心を持っている	○スリランカの関係を知ろう ・日本とスリランカの戦後の様子を写真や動画で学ぶ ○内戦の様子を知ろう ・スリランカの内戦について、写真を見たり話を聞いたりする ・戦争について、自分の考えを持つ	・写真、動画 ・ワークシート

【5】 本時の展開

過程時間	学習活動	指導上の留意点 (支援)	資料 (教材)
導入 (8分)	1. スリランカについて知ろう 【共通点】 ・島であること・牛や馬がいる ・算数の問題が同じ・国旗がある 【相違点】 ・大きさ・人口・国旗の模様	・スリランカと海士町を比較しながら、共通点や相違点を考えられるようにする。	・パワーポイント ・国旗
展開 (32分)	2. スリランカクイズをしよう	・スリランカの生活や様子がわかるように写真や動画を準備しておく。また、補足説明をしながら正解を発表する。 ・クイズを楽しむだけでなく、ここでも海士町との共通点や相違点について知らせるようにする。 ・児童の「どうして、なぜ」を大事にしながらかを進める。	・パワーポイント ・写真 ・動画
	3. 体験！スリランカボックス	・6つの班に1つずつ、スリランカの物を準備する。 ・五感を使って考えるよう伝える。 ・補足説明をしながら正解を発表する。	・品物・写真 ・ワークシート

<p>まとめ (5分)</p>	<p>4. 教師の説話・児童の感想</p>	<p>・海外に行って感じたことを伝える。その際、児童が自分も海外に行きたい、もっと知りたいという意欲がもてるようにする。</p>	<p>・感想用紙</p>
---------------------	-----------------------	--	--------------

【授業実践の様子】



スリランカの話をしている様子



スリランカクイズに答える様子



スリランカボックスの様子①



スリランカボックスの様子②



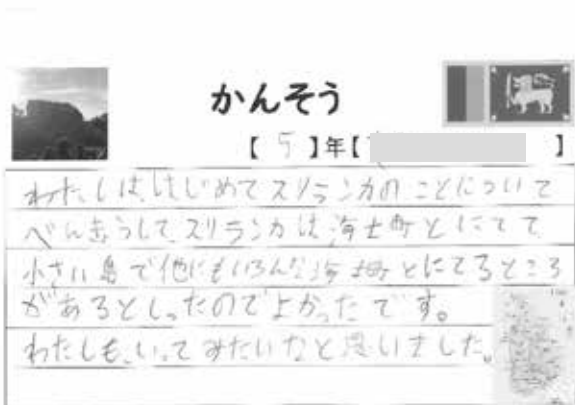
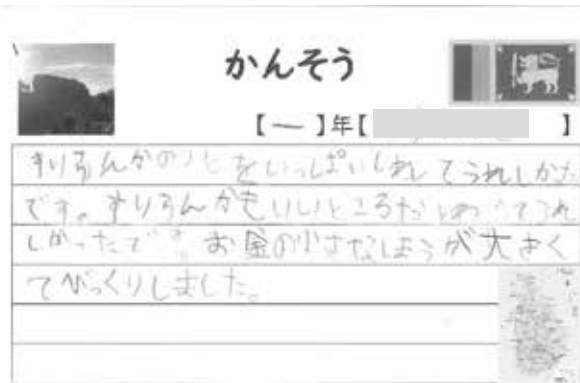
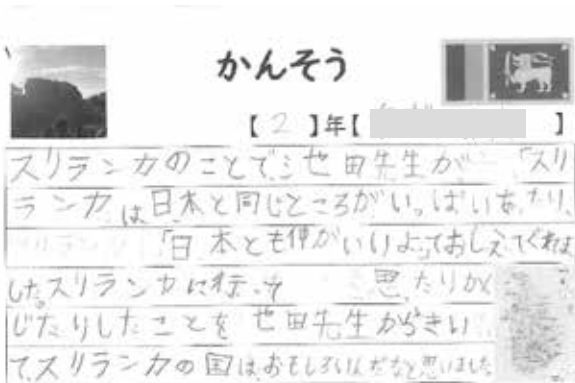
【6】本時の振り返り

児童の実態や様子などから、まずは海外に目を向けてほしいという思いがあり、「スリランカを知る」ことから始めた。初めの海士町との比較については、「同じだ！」「ここは違うなあ。」など、児童から共通点や相違点が上がった。自分たちの住む町と比較することで、より身近に感じることができたと思う。そのこともあって、スリランカクイズでも、日本や海士町との共通点や相違点を見つけている児童がいた。クイズは3択問題にすることで、1年生でも選びやすいようにしていたため、最後まで興味を持って取り組んでいた。

スリランカボックスでは、異学年が協力して何のためのものなのか、何なのかを考えていた。実際に身につけてみたり、においをかいでみたりと体全体を使ってスリランカを感じていた。1分で品物を交代していたが、悩んでいる物もあり、もう少し時間があっても良かったと感じた。

伝えたいことが多く、内容が盛りだくさんだった上に、正解発表の際の一つずつゆっくり解説したり、児童のつぶやきを取り上げたりしていたため、予想以上に時間がかかり最後の説話が十分にできなかった。教師が一番伝えたいところなので、そこにしっかりと時間がかけられるように時間配分や内容に工夫が必要だと感じた。また、感想を書く時間も取れず、各学級で書いてもらったので、感想を発表する時間まで取れるようにしたい。

【7】単元を通じた児童生徒の反応／変化



かんそう

【5】年【月日】

あたしは、このスリランカの授業をして、日本と同じ戸舎もいっぱいある。あたし、象のフンの糸もあってびっくりしました。おもしろい道具などもあって使ってみたいなと思いました。あたしもスリランカにいてみたいと思いました。

もっとスリランカの道具やあかしを食べてみたいと思いました。

かんそう

【5】年【月日】

ぼくはスリランカの話を聞いてスリランカで日本では見えないのスリランカのあつち。日本にあるいねとリキムトスリランカに日本とスリランカの仲間のしよかあつちをいきました。あつちをいきました。スリランカの話を聞いても、あつちをいきました。

かんそう

【6】年【月日】

私は、せ田先生にスリランカの話を聞いてはじめて知りました。日本とスリランカは、仲がよい。スリランカと日本は、授業では日本と同じ分数の計算などの問題をいっています。あつちをいきました。日本とスリランカは、あつちをいきました。あつちをいきました。あつちをいきました。

かんそう

【6】年【月日】

ぼくは、せ田先生にスリランカの話を聞いた。スリランカクイズなどをして、あつちをいきました。あつちをいきました。あつちをいきました。あつちをいきました。あつちをいきました。あつちをいきました。あつちをいきました。

【単元を通し変容した児童の態度や学習意欲】

展開計画以外の場面でも、様々なところでスリランカの話を取り上げたり、説話をしたりしていることから、児童の方から「スリランカではどうですか。」と聞いてくることが増えてきた。また、自分たちの文化や生活とは異なるものに触れ、他の国はどうなっているのだろうかに興味を持つ児童が増えた。

スリランカと日本のつながりについて、本時の最後に少し触れたことから、上学年の児童から、「どうして日本のマークがスリランカにあるのですか。」「どうしてスリランカと日本は仲良しなのですか。」といった質問があり、国交について関心が出てきたことがわかった。

【途上国・異文化への意識の変容】

- <授業前>
- ・自分たちの住む町以外のところのことをほとんど知らない。
 - ・上学年の児童も諸外国、途上国などを認識している児童はほとんどいない。
 - ・外国は遠くて自分たちにあまり関係がないと思っている児童がほとんどである。
- <授業後>
- ・途上国という概念はあまりない。
 - ・異文化については、「そうなんだ。」という驚きとともに、「もっと知りたい。」という思いを持つようになった。
 - ・日本と外国のつながりや異文化が身近に存在することに気づいた。
 - ・「南の島のプルワン」を読んだことから、シンハラ文字に興味を示したり、「プルワンみたいだね。」と、できないことでもがんばって取り組もうとしたりする様子が見られる。

【8】自己評価

1. 苦労した点

伝えたいことがたくさんあり、何をどうやって、どこまで伝えるかを悩んだ。伝えたいことがあっても、伝える手段や方法を間違えれば意味のない学習になってしまう。また、伝える内容も教師個人の見たこと感じたことだけを伝えと、偏った情報の伝達になるのではないかと悩んだ。途上国がマイナスイメージだけにならないように注意した。

1年生から6年生までの異年齢があり、難しい言葉では伝わりづらいので、言葉選びにも苦労した。簡単な言葉では本当の意味が伝わりにくいので、簡単な言葉で、しっかりと内容を説明するようにした。

2. 改善点

スリランカクイズで伝えることをもう少し精選して、説話や振り返りに時間がかけられるようにする。

テレビとの接続が悪く、動画を見るのに時間がかかったので、パソコン以外でも動画が見られるようにしておく。

事前アンケート等を準備して、意識の変容がより見えるようにしておく。

発達段階に応じて、伝える内容を変える。

「へえ。そうなんだ！」を積み重ねていけるようにする。

3. 成果が出た点

外国に対する視野が広がり、日本と外国（スリランカ）を比べたり、教科書や絵本に出てきた国について知ろうとする意欲が見られたりするようになった。学級通信や校報でも授業の様子を伝えたと、家庭でも話題にすることができた。世界の挨拶について学んだことによって、スリランカの「アーユーボワン」の挨拶を覚えていてする児童もいた。

全校児童で学習することについて、発達段階の違いから不安もあったが、高学年がうまくリードしてくれたり、低学年の素朴な疑問が実は核心をつく大切なことだったり、全校児童で学習しなければできなかったことがたくさんあった。

児童にとって、外国が「行ったことのない国」から、「なんだか身近で、行ってみたい国」へと変わったことが大きな成果だと感じる。

4. 備考

教師海外研修での10日間は、知らないことばかりだった。スリランカというところも、発展途上国というところも初めてで、さらにその中で出会う出来事も初めてのものばかりだった。この初めて知る時のわくわく感や面白さを児童に伝えたいと思った。そして、「初めて」は勇気があるけれど、体験してみないとわからないことのほうが多く、体験しないのはもったいないことも知った。海外に目を向けると同時に、そこから見えてくる故郷の良さを考え、故郷を大切に思いながらも広い視野を持って活躍できる児童を育成していきたいと感じた。

【参考資料】

<書籍>

- ・絵本「ねこのくにのおきゃくさま」
- ・絵本「かさどろぼう」
- ・絵本「きつねのホイティ」
- ・絵本「南の島のプルワン」
- ・JICA中国「2017年度 JICA中国スリランカ教師海外研修授業実践報告書」
- ・JICA中国「2016年度 JICA中国ラオス教師海外研修授業実践報告書」

<Webサイト>

- ・スリランカ民主社会共和国／外務省
- ・DEAR 開発教育協会HP

世界の国を知ろう！

～スリランカ・ボックス～

今日の学習

1. スリランカって どんどころ？
～わたしたちの住む海士町と くらべてみよう！～
2. スリランカ・クイズをしよう！
3. スリランカ・ボックスをしよう！
4. 池田先生がスリランカへ行って
感じたこと・思ったこと

1. スリランカって どんどころ？
～わたしたちの住む海士町と くらべてみよう！～

スリランカ 海士町2000箇分の縮尺 海士町



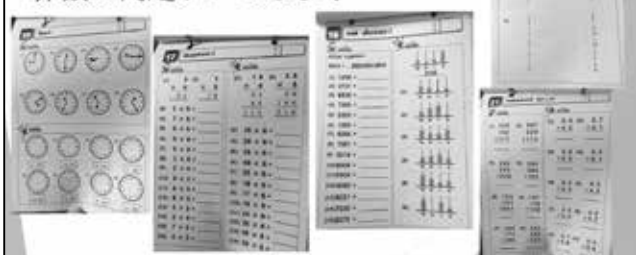
スリランカと海士町のおなじところ
どちらも島！



スリランカと海士町のおなじところ
牛や馬がたくさんいること



スリランカと海士町のおなじところ
算数の問題がいっしょ！



スリランカと海士町のおなじところ
アワーマーケット・アワープロダクト
(地いきのものを 地いきで売ろう！)



2. スリランカ・クイズをしよう！

だい1もん

スリランカのゆう名なたべものはなんでしょう？

- ①カレー
- ②シチュー
- ③オムライス



①カレー

だい2もん

スリランカで「あゆぼわーん」は
どないみでしょう？

- ①あなた
- ②すき
- ③こんにちは

③こんにちは

だい3もん

これ、なーんだ？



- ①いえ
- ②いわ
- ③いんせき

①いえ



だい4もん

これ、なーんだ？



- ①とうもろこし
- ②バナナの花
- ③いも

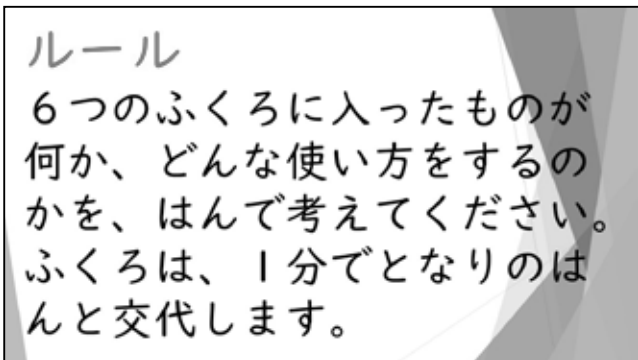
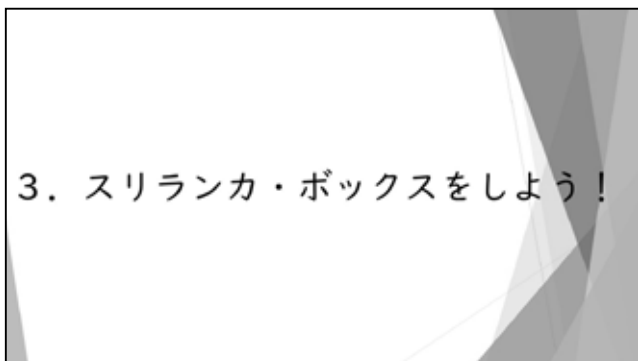
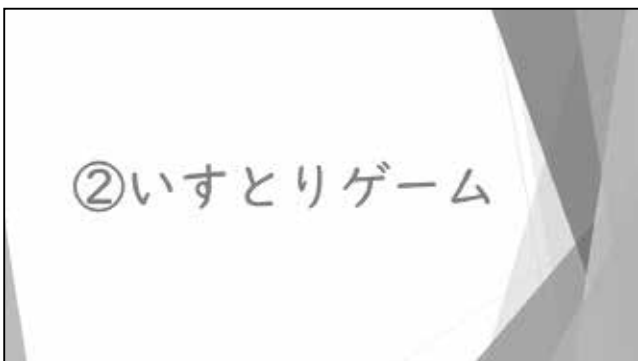


②バナナの花

だい5もん

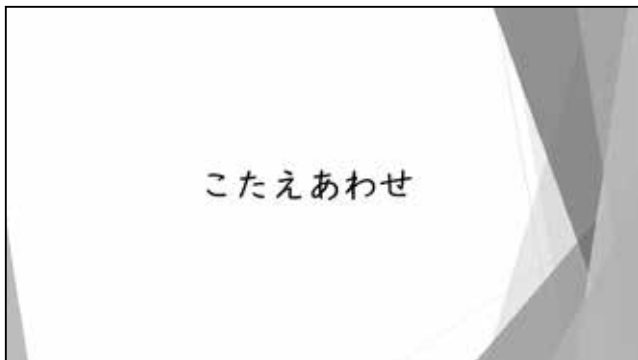
スリランカでも、日本とおなじあそびがあります。なーんだ？

- ①だるまさんがころんだ
- ②いすとりゲーム
- ③あやとり



ルール

6つのふくろに入ったものが何か、どんな使い方をするのかを、はんで考えてください。ふくろは、1分でとなりのはんと交代します。



ミルクトッフィ



ココナッツをけずる道具

メモようし (ただし…)

Elephant Dung Paper Products

Made out of elephant dung and post consumer paper.
Pulped to perfection by the majestic elephants
(*Elephas maximus maximus*)
and handmade in rural Sri Lanka.



サロマ
(男の人が着る服)



日本のヘチマ



4. 池田先生がスリランカへ行って
感じたこと・思ったこと

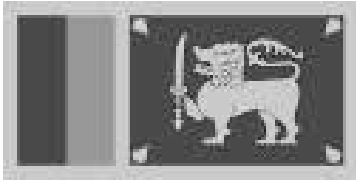
①知らないことをしるって
おもしろい!

②とおい国だけど・・・
じつは いがいとちかい



③人とのであいは
たからもの

ස්තුතියි



スリランカボックス

【 】組 【 】班

	予想
①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	